



## 利用者様の作品紹介

—根津スガ子様 作品—

スガ子さんは手先が器用で、編み物を一番得意とし、御主人のセーターやチョッキ、娘さん達のスカート・サマーセーターなどほとんどを手作りしていたそうです。娘さんは手が腱鞘炎になるほど夜なべをしていたお母様の姿が印象に残っているそうです。



① ビーズは、岡田屋モアーズの4階のビーズパーツクラブという所で材料を買いそろえ、糸に1つ1つビーズを通し、作り上げていきます。外出時には、洋服に合わせたアクセサリを必ず身につけて行くそうです。

② キューピーさんは、大・中・小と大きさも異なり、帽子や体に巻きつけていくひもの色を調整しながらかわいく仕上げられています。

③ デイサービスで作る作品は1個では物足りず、「誰々の分も」と2個3個と作り、デイのスタッフが「今から体操をやりましょう」「入浴の時間です」と声掛けをしても「私はこれを作っているからいい」と、夢中になるそうです。

週に3~4回デイサービスを利用したり、地域のカラオケにも週1回参加しています。時間がある時にはビーズやキューピーさん作りと、毎日を意欲的に過ごされています。

出来上がった作品は差し上げることが多く、喜んでもらえるならと今日も張り切って作っています。



## 祭 Dayみなまき

スタッフと一緒にお神輿を担いだ方、椅子に座ったまま担いだ方、部屋中にワッショイの掛け声と感動が溢れていました。

8月22日から26日、夏祭り週間でした。

今年はお神輿を制作しました。

皆様には、若い頃の懐かしさと活気を味わっていただきました。



## 9月の句

### 泣き虫の子預かりし敬老日

昌子

9月第三月曜日は敬老の日、国民の祝日である。敬老といっても、七十代はもちろん、今は八十代でもまだまだ元気な方は多い。パパとママは、おばあちゃんに子供を預かってもらい、二人で外出。敬老の日なので、気兼ねなく孫と過ごせる時間が一番の贈り物と思つてのことかもしれない。

その預かった子が泣き虫だったというからおかしい。困ったというよりも、「泣きたい時は、泣かしておこう」。

子育ての先輩としての余裕が、句から感じられる。

(榎本 選)

